

横浜中

科学者の逸話 生徒感心



和田さん(元)科技庁(青森事務所)講演

横浜町の横浜中学校(杉澤孝校長)は28日、科学に高めよつと、同校で科学講演会を開いた。生徒約150人が、科学者が研究に取

講師の和田さん(左)に質問する生徒たち

り組む姿勢や、歴史的な発明を生んだエピソードなどを学んだ。

元科学技術庁青森事務所長で、神戸市立青少年科学館長の和田智明さんが「科学を志す人たちへのメッセージ」と題し講演した。

生徒らは、リチウムイオン電池や光触媒など私たちの生活を支える発明が、数多くの挑戦と試行錯誤だけでなく、偶然が重なって生まれたことを知り、驚いた様子。

また、ノーベル化学賞受賞者の白川英樹博士が中学

3年生でプラスチックの研究を志したことや、同物理学賞受賞者の中村修二教授が小学校時代、キャッチボールをするような感覚で父親が出す計算問題を解いていたことなどを知り、若い頃から好きなことに打ち込む大切さを学んだ。

生徒たちは和田さんに、中学時代の夢などを質問。和田さんは「科学に携わる仕事に就きたい、という思いがあったから、理科や数学をしっかり勉強した」などと答え、「科学は何もないうところから価値をつくり出すことができる。もっと関心を持って」と呼び掛けた。(赤田和俊)

告知板

来月3日、浜矩子・

同志社大大学院教授が経済情勢について講演。午後2時から、町商工会館2階会議室で。町商

工会主催の新春講演会で、演題は「これからの日本経済と企業経営」。聴講は無料だが、希望

者は電話で申し込みを。申し込み、問い合わせは町商工会(電話017662095)へ。

来月11日にB-1グランドプリマチックランプリまちづくり講演会。午後1時半から、十和田市民交流プラザで。

B-1グランドプリマチック実行委員会と和田バラ焼きによるまちおこしサポータークラ